

2022年度フォトコンテスト 受賞者喜びの声

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会広報事業専門委員会

第13回建コンフォト大賞は「あなたのお気に入りの“土木施設”」をテーマに全国から305点の応募がありました。また、第9回建コンフォト大賞 Jr. は「“土木施設”を探せ!」をテーマに120名の中学・高校生から応募がありました。厳正な審査の結果、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞10点、グリーンインフラ特別賞2点(建コンフォト大賞のみ)を選定しております。

その中から、最優秀賞および優秀賞を受賞したみなさんから喜びの声を頂きましたのでご紹介します。

全入賞作品は協会ホームページでご覧いただけます。

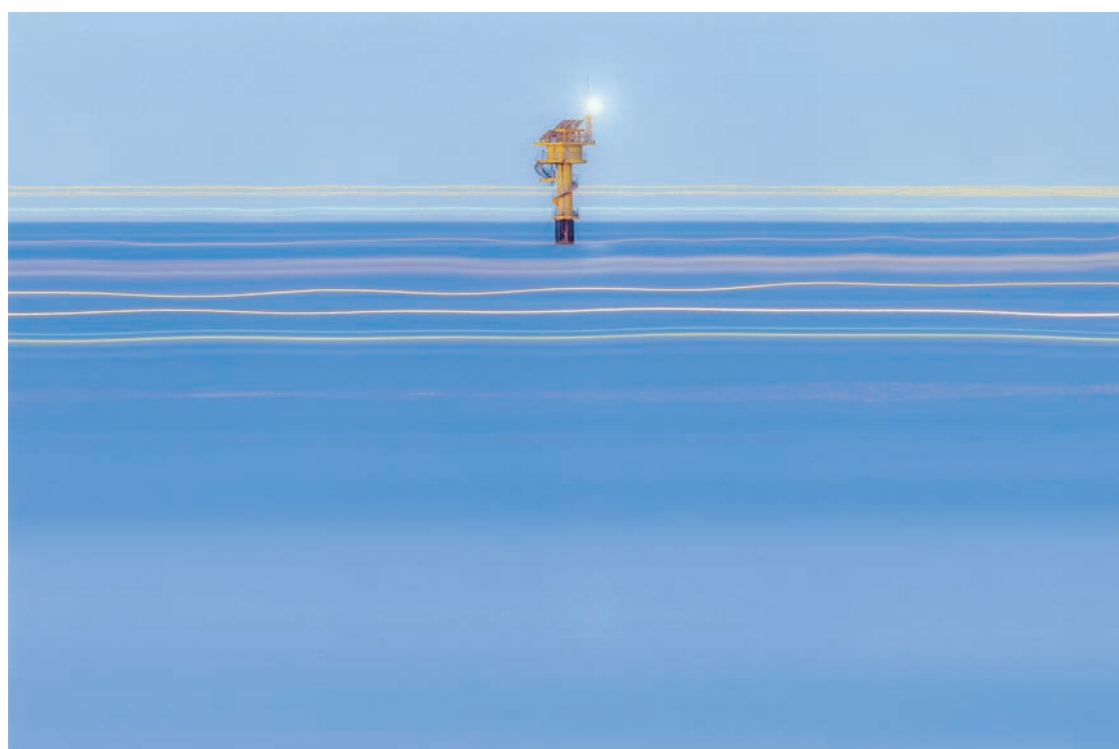
URL: https://www.jcca.or.jp/achievement/photo_contest/photocon.html

第13回建コンフォト大賞

最優秀賞 「海の番人」

奈良県 松本 直己

(撮影地:和歌山県田辺市)



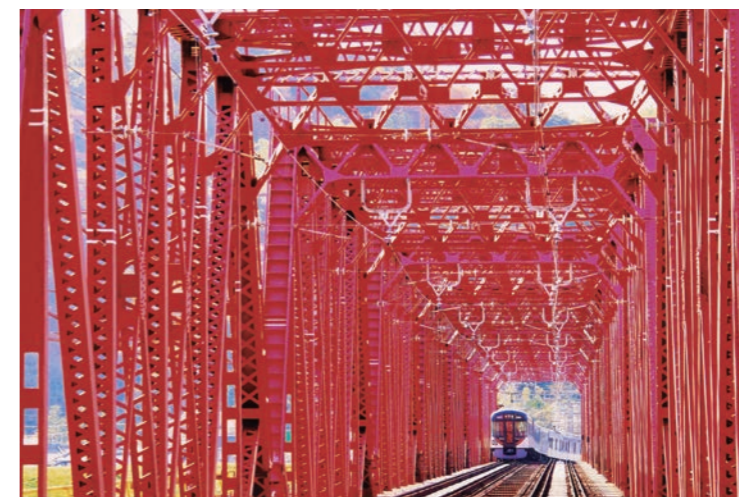
受賞者
コメント



このたびは最優秀賞に選出いただき大変光栄です。高潮観測塔を初めて見たとき、そのフォルムや色彩に心を奪われました。これを主役とし、いかに魅力的に表現するか考えました。長砂で得られる滑らかな海面と、主役の前後を横切る数隻の漁船の光跡を途切れず写し込むため4分半のバルブ撮影を行いました。また、現象においても非日常的に仕上げることを目指し、実際の撮影は月夜ですが、明るいパステル調に仕上げました。

優秀賞 「朱の千本鳥居」 大阪府 栗原 正隆

(撮影地:京都府八幡市)

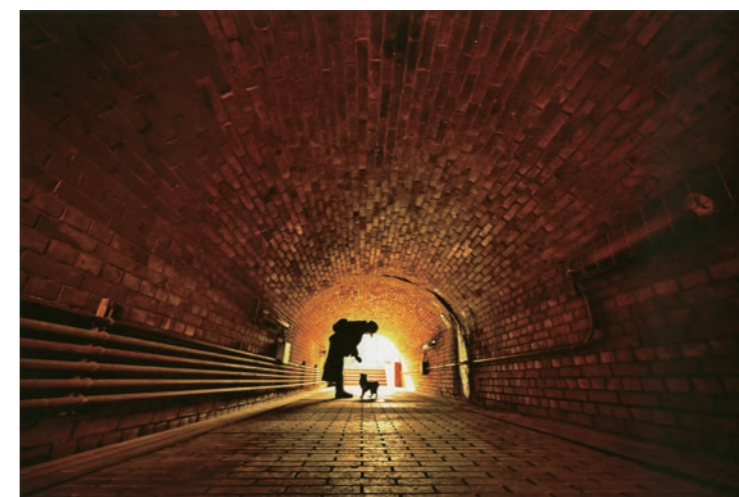


受賞者
コメント

プラットトラスが9連も続く、この赤い鉄橋は、普通にサイドから撮っても、横に間延びした感じになるのでちょっと視点を変え、望遠レンズ効果を利用して、土木構造物版の「千本鳥居」のような感じに仕上げました。土木構造物をどう見せるか(魅せるか)が建コンフォト大賞の肝ですが、今回はタイトル含め、自分の表現したい世界観は作れたと思います。

優秀賞 「おさんぽ探検」 埼玉県 忽那 博史

(撮影地:埼玉県さいたま市)



受賞者
コメント



この度は、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に存じます。作品となった千貫樋は公園として整備されており、愛犬を連れてよく散歩に出かけます。土木遺産に認定されていますが、多くの人の目に触れる場所ではなく小さな治水施設なので、その存在はあまり知られていません。ですがその歴史はとて古く、洪水との闘いを後世に伝える土木施設として貴重な存在です。当時への思いを馳せながら、これからも散歩を楽しんでいきたいと思っています。

ジュニア最優秀賞 「Time Machine」

愛知県 安形 健介
中部大学第一高等学校
(撮影地:愛知県名古屋市)



受賞者
コメント



この度は、ジュニア最優秀賞に選んで頂き、誠にありがとうございます。
「土木施設」と聞いて真っ先に浮かんだのが高速道路でした。撮影地は、多くの人が利用する名古屋市名東区の上社JCT。インフラ施設であり人々を支える高速道路が、こんなに入り組んでいたのが不思議に感じ撮影しました。
また、昼間に見る光景とは違いダイナミックで幻想的な一面を見て感動しました。沢山の人がそれを感じて頂ければ幸いです。

ジュニア優秀賞 「春の奥四万湖 ～季節によって水の色が変化するダム～」

東京都 中村 一

立教新座高等学校 (撮影地:群馬県吾妻郡中之条町)



受賞者
コメント



中学校時代の群馬水上キャンプや、社会科の先生の地理学習の影響で、ダム建設の大切さに気づくことができました。

コロナ禍で遠方に行くことが難しくなりましたが、ようやく久々の遠出

をすることができ、家族に群馬のダム湖をリクエスト。

インフラである人工物が自然の中に溶け込み、人を魅了していることに感動を覚えました。

きっかけを作っていただいた立教新座中学校、高校及び貴協会に感謝申し上げます。

ジュニア優秀賞 「とある夏の昼下がり」

群馬県 井上 稜也

前橋育英高等学校 (撮影地:群馬県渋川市)



受賞者
コメント

この度はジュニア優秀賞に選んでいただき、誠に光栄に思います。撮影日は最高気温38℃の猛暑日で、川の水に浸りながらの撮影となり大変でしたが、思い描いた機関車と橋のシルエットに夏らしい雲を絡めることで、季節感の感じられる写真が撮れて嬉しかったです。今後も素敵な写真が撮れるよう精進していきたいです。ありがとうございました。